

平成19年11月28日

記者クラブ 御中

国立身体障害者リハビリテーションセンター

障害者週間 リハビリテーション研究の最前線紹介イベントの開催について

標記について、次のとおり障害者週間にかかるイベントを開催しますので、お知らせいたします。

- 1 日 時 平成19年12月7日（金）10:00～16:00
8日（土）10:00～17:10
- 2 場 所 国立身体障害者リハビリテーションセンター
- 3 取材対応 福祉機器開発部長（下記照会先のとおり）
- 4 目 的 12月3日～12月9日の障害者週間事業の一環として、リハビリテーション研究の最前線を紹介することを目的とする。
- 5 その他 報道関係者の方は、当日受付にお申出下さい。
カメラ撮影につきましては、終日可能ですが、当事者の方の撮影については事前に了解をお取りいただく等の御配慮願います。

〔照会先〕

国立身体障害者リハビリテーションセンター
研究所 福祉機器開発部
電話 (代)04-2995-3100
井上 内線 2543

障害者週間 リハビリテーション研究の最前線紹介イベントの開催について

国立身体障害者リハビリテーションセンター研究所

12月3日～12月9日の障害者週間の一環として、当研究所では、リハビリテーション研究の最前線を紹介するイベントを開催します。

1. 研究所オープンハウス

公開時間 12月7日(金) 10:00～16:00
場 所 研究所 第2研究棟および補装具製作棟

運動機能や感覚機能の回復、最新の福祉機器、災害時の避難に向けた地域での取り組みなど、最新のリハビリテーション研究に関する展示を行います。リハビリテーションの研究は、医学、工学、社会学、心理学と、とても広い知見が必要です。このような広範囲の学術領域をカバーしている研究所は、世界でも類を見ない貴重な存在です。そんな研究所に、気軽にお入りいただき、研究担当者とざっくばらんな情報交換をしていただければと思っております。障害のある方々が、生き生きと生活できる社会を構築するための、最先端の研究を実感してください。展示例としては、電動車いすシミュレータ、ロボット技術を駆使した股義足等を展示する予定です。詳しくは下記 HP をご覧ください。

<http://www.rehab.go.jp/ri/event/2007openhouse.html>

2. 自立支援法における座位保持装置の規格化に関する講演会

日 時 12月7日(金) 10:00～12:20
場 所 研究所 第1研究棟 2階機材室

昨年より障害者自立支援法が施行され、この法律により障害者の生活は大きく変化してきています。そのような流れの中で、座位保持装置の安全性の規格の見直しが厚生労働省で進められています。この講演会では、この規格に関する解説と、国際規格 (ISO) も含めた最新動向について、厚生労働省および当研究所の職員による講演を行います。障害当事者、医療スタッフ、介護職、福祉用具のメーカー・販売店の方等を対象とした、福祉用具の安全性に関する最前線の取り組みをご紹介します。詳しくは下記 HP をご覧ください。

<http://www.rehab.go.jp/ri/event/2007zaihoji.html>

3. 認知症のある人の福祉機器シンポジウム

日 時 12月8日(土) 13:00~17:10
場 所 学院6階 大研修室

認知症者の数は180万人ともいわれ、社会的にも大きく取り上げられる問題となっています。しかし日本では、“認知症=介護が必要”という認識が強く、自立を促進するための福祉機器はほとんど知られていません。ヨーロッパなどでは、消し忘れを本人に知らせるガスコンロや、今が昼か夜かを知らせるカレンダーなど、多くの機器が使われています。

当研究所では、2005年から、認知症者を対象とした福祉機器の研究を始め、機器に関する情報提供や新たな機器の開発を進めています。このシンポジウムでは、福祉先進国のスウェーデンから、認知症者を対象とした福祉機器の効果に関する研究プロジェクトのリーダーであるインセラ・マンソン氏をお迎えし、認知症者の自立を支える福祉機器に関する講演を企画しています。日本からは、厚生労働省、当事者、ケア、家族のそれぞれの立場から、経験をふまえた実践的なお話を伺える講演をお願いしています。また、当研究所で開発中の、支援機器も紹介させていただきます。認知症の方の中には、朝ご飯を食べたことを忘れてしまい不安になる方や、予定の把握が難しく何度も時間を尋ねたりする方がいらっしゃいます。そのような方に、「何をしたか?」「今がいつか?」「これから何をするか?」を理解していただくことによって、自らの行動を自らの意思で決定し、“できる力”を活かし、自立した生活を維持することが可能となります。そのプロセスに効果を発揮する支援機器を紹介します。詳しくは下記のHPをご覧ください。

<http://www.rehab.go.jp/ri/event/dementia2.html>

4. 認知症のある人の福祉機器展示館の公開

公開時間 12月7日(金) 10:00~16:00
12月8日(土) 10:00~12:00 見学会
場 所 センター内 障害者用モデル住宅

当研究所では、認知症者に役立つ福祉機器の情報提供の一環として、展示館を12月7日にオープンします。場所は構内にあるモデルハウス内を使用し、リビングや寝室、キッチンといった生活場面に即して、役立つ機器約50点を国内外から集めて展示します。実際に手にとって、体験してみることができることが展示館のポイントです。12月8日以降も、随時見学を受け付けます。当事者、ご家族、介護職の方、機器開発をお考えの方など、多くの方のご来場をお待ちしています。